

令和1年度 栽培管理表

管理番号 1901

記入日

2019年9月21日

生産者	木村 平	栽培責任者	みすみファーム	確認責任者	榑幸里 生産管理部
住所	熊本県宇城市三角町	住所	熊本県宇城市三角町戸馳2242-1	住所	熊本県宇城市三角町戸馳2653-2
連絡先		連絡先	0964-53-1158/0964-53-1704	連絡先	0964-53-0606/0964-53-1704

作物名	みかん	圃場番号	家の上・開墾・松浦	播種日	該当せず	栽培区分
品種名	極早生・早生・青島			定植日	該当せず	特別栽培
栽培面積	180 a	圃場住所	宇城市三角町	収穫予定日	9月下旬	収穫予定数量
栽培方法	露地栽培			栽培期間	2018年10月中旬～今期作収穫終了日(1年間)	20000kg
種・苗の入手先	該当せず	前作作物名	みかん	出荷予定日	9月下旬	出荷予定数量
種子消毒有無	該当せず	前作終了日	2018年12月下旬	出荷期間	9月下旬～1月中旬	18000kg

施肥資材投入計画 (肥料・堆肥等)				施肥資材投入実績			
施用時期	投入資材名	使用量(10a)	備考(仕入先他)	施用月日	投入資材名	使用量(10a)	備考
2019年3～5月	オリジナル配合674	80kg		2019年4月4日	モグラ堆肥A	100kg	松浦
3～5月	モグラ堆肥A	100kg		4月4～17日	オリジナル配合674	100kg	開墾・家の上
10～11月	オリジナル配合674	100kg					
10～11月	モグラ堆肥A	100kg		6月5～12日	天恵緑汁	500倍/500L	農薬に混用
3～5月	天恵緑汁	500倍/300L					
	以後、計画無し				以降、収穫終了後施肥予定		

防除資材投入計画 (農薬等)				防除資材投入実績			
防除時期	目的	使用農薬名	使用倍率・量(10a)	防除実施日	使用農薬名	使用倍率・量(10a)	備考
2019年4月上旬	殺菌	デランフロアブル	1000倍 400L	2019年 4月5～10日 混用散布	デランフロアブル	1000倍	500L
	殺虫	モスピラン水溶剤	3000倍		アピオンE	1000倍	
7月上旬 混用予定	殺菌	デランフロアブル	1000倍	6月5～12日 混用散布	デランフロアブル	1000倍	
	殺虫	アプロードエースフロアブル	1000倍 500L		アプロードエースフロアブル	1000倍	
9月上旬	殺虫	アルバリン顆粒水溶剤	2000倍 400L		モスピラン水溶剤	3000倍	
9月中旬	殺虫	ロディー乳剤	2000倍 400L		アピオンE	1000倍 500L	
9月下旬	殺菌	イオウフロアブル	400倍 300L				
9月下旬	殺虫	サンマイト水和剤	2000倍 400L		以後、散布無し		
4月～7月	展着剤	アピオンE (農薬混用予定)	1000倍				
		以後、計画無し					

特別栽培農産物の根拠					
県慣行栽培化学肥料使用量 (窒素成分)	24 kg/10a	当作計画(化学肥料使用量)	0 kg/10a	当作肥料計画	10 削減
県慣行栽培化学合成農薬使用回数 (成分回数)	22 回	当作計画(化学合成農薬使用回数)	9 回	当作農薬計画	5 削減
				当作実績(化学肥料使用量)	0 kg/10a
				当作実績(化学合成農薬使用回数)	5 回
				当作肥料実績	10 削減
				当作農薬実績	7 削減

産地概要(気候・風土等)他、栽培上こだわっている点	作物の特徴・アピールポイント等
当産地は、気候的に年間平均気温17～18度、平均降水量2000ミリを有し、海から一気に駆け上がる台地は水はけの良い特性があり、温暖な気候とあいまって柑橘栽培にとって最適な条件を有しています。また安心・安全にこだわり、使用資材に制限を設けた特別栽培に取り組んでいます。	今年、例年より梅雨入りが2週間ほど遅れました。梅雨明けは7月下旬平年並みで、降水量が少なく玉肥大は遅れ気味でしたが、品質等の生育内容は順調でした。しかし8月下旬から9月上旬にかけて秋雨前線の停滞による降雨の影響で、酸切れは進み食べやすいのですが、糖度の上昇は鈍いようです。現在は天候も安定していますので、今後の食味向上を期待しているところです。

令和 1 年度 栽培 管理 表

管理番号 1902

記入日

2019年9月21日

生産者	波村郁夫	栽培責任者	みすみファーム	確認責任者	(株)幸里 生産管理部
住所	熊本県宇城市三角町	住所	熊本県宇城市三角町戸馳2242-1	住所	熊本県宇城市三角町戸馳2653-2
連絡先		連絡先	0964-53-1158/0964-53-1704	連絡先	0964-53-0606/0964-53-1704

作物名	みかん	圃場番号	家の上・開墾	播種日	該当せず	栽培区分
品種名	極早生・早生・普通		内田方・田井ノ浦	定植日	該当せず	特別栽培
栽培面積	90 a	圃場住所	宇城市三角町	収穫予定日	9月下旬	収穫予定数量
栽培方法	露地栽培			栽培期間	2018年10月下旬～今期作収穫終了日(1年間)	26000kg
種・苗の入手先	該当せず	前作作物名	みかん	出荷予定日	9月下旬	出荷予定数量
種子消毒有無	該当せず	前作終了日	2018年12月下旬	出荷期間	9月下旬～1月上旬	24000kg

施肥資材投入計画 (肥料・堆肥等)				施肥資材投入実績			
施用時期	投入資材名	使用量(10a)	備考(仕入先他)	施用月日	投入資材名	使用量(10a)	備考
2019年3月上旬	有機配合	100kg		2019年3月23日	有機配合	120kg	
4月上旬	尿素	500倍/1000L	葉面散布予定				
6月中旬	有機配合	200kg					
11月上旬	有機配合	200kg	極早生施肥予定		以降、収穫終了後施肥予定		
12月下旬	有機配合	200kg	早生・南柑施肥予定				
	有機配合内容						
	魚粉						
	肉骨粉(豚・鶏)						
	血粉						
	硫酸カリ						
	以後、計画無し						

防除資材投入計画 (農薬等)				防除資材投入実績			
防除時期	目的	使用農薬名	使用倍率・量(10a)	防除実施日	使用農薬名	使用倍率・量(10a)	備考
2019年3月上旬	殺虫	ハーベストオイル	60倍 600L	2019年4月11～13日	デランフロアブル	1000倍 600L	
4月上旬	殺菌	デランフロアブル	1000倍 500L		ストロビードライフロアブル	1000倍	
6月中旬	殺虫	アブロードエースフロアブル	1000倍	6月11～14日 混用散布	モスピラン水溶剤	3000倍	
	殺菌	デランフロアブル	1000倍 700L		アブロードエースフロアブル	1000倍	
6月～8月下旬	殺虫	アルパリン顆粒水溶剤	2000倍 700L		アピオンE	800倍 700L	
6月～8月下旬	殺虫	モスピラン水溶剤	3000倍 700L				
6月～8月下旬	殺菌	ストロビードライフロアブル	2500倍 700L				
6月～8月下旬	殺虫	サンマイル水和剤	3000倍 700L		以後、農薬散布無し		
10月上旬	殺菌	イオウフロアブル	400倍 600L				
4～8月	展着剤	アピオンE	1000倍 —				
		以後、計画無し					

特別栽培農産物の根拠					
県慣行栽培化学肥料使用量 (窒素成分)	24 kg/10a	当作計画(化学肥料使用量)	1.0 kg/10a	当作肥料計画	9 割減
県慣行栽培化学合成農薬使用回数 (成分回数)	22 回	当作計画(化学合成農薬使用回数)	8 回	当作農薬計画	6 割減
				当作実績(化学肥料使用量)	0 kg/10a
				当作実績(化学合成農薬使用回数)	5 回
				当作肥料実績	10 割減
				当作農薬実績	7 割減

産地概要(気候・風土等)他、栽培上こだわっている点	作物の特徴・アピールポイント等
<p>当産地は、気候的に年間平均気温17～18度、平均降水量2000ミリを有し、海から一気に駆け上がる台地は水はけの良い特性があり、温暖な気候とあいまって柑橘栽培にとって最適な条件を有しています。また安心・安全にこだわり、使用資材に制限を設けた特別栽培に取り組んでいます。</p>	<p>今年は、例年より梅雨入りが2週間ほど遅れました。梅雨明けは7月下旬平年並みで、降水量が少なく玉肥大は遅れ気味でしたが、品質等の生育内容は順調でした。しかし8月下旬から9月上旬にかけて秋雨前線の停滞による降雨の影響で、酸切れは進み食べやすいのですが、糖度の上昇は鈍いようです。現在は天候も安定していますので、今後の食味向上を期待しているところです。</p>

令和 1 年度 栽培管理表

管理番号 1904

記入日

2019年9月21日

生産者	中山信一郎	栽培責任者	みすみファーム	確認責任者	(株)幸里 生産管理部
住所	熊本県宇城市三角町	住所	熊本県宇城市三角町戸馳2242-1	住所	熊本県宇城市三角町戸馳2653-2
連絡先		連絡先	0964-53-1158/0964-53-1704	連絡先	0964-53-0606/0964-53-1704

作物名	みかん	圃場番号	山田日平	播種日	該当せず	栽培区分
品種名	極早生・早生			定植日	該当せず	特別栽培
栽培面積	55 a	圃場住所	宇城市三角町	収穫予定日	9月下旬～	収穫予定数量
栽培方法	露地栽培			栽培期間	2018年10月中旬～今期作収穫終了日(1年間)	20000kg
種・苗の入手先	該当せず	前作作物名	みかん	出荷予定日	9月下旬～	出荷予定数量
種子消毒有無	該当せず	前作終了日	2018年12月中旬	出荷期間	9月下旬～12月下旬	18000kg

施肥資材投入計画 (肥料・堆肥等)				施肥資材投入実績			
施用時期	投入資材名	使用量(10a)	備考(仕入先他)	施用月日	投入資材名	使用量(10a)	備考
2019年4月上旬	モグラ堆肥A	120kg	東海マルタ	2019年5月27日	モグラ堆肥A	140kg	
11月下旬	モグラ堆肥A	120kg	東海マルタ				
5月～7月	パワーアミノ液肥1号	1000倍/700L	3～4回、葉面散布		以降、収穫終了まで施肥		
5月～7月	硫酸マグネシウム	500倍/700L	その他資材(微量要素)				
	以後、施肥計画無し						

防除資材投入計画 (農薬等)				防除資材投入実績			
防除時期	目的	使用農薬名	使用倍率・量(10a)	防除実施日	使用農薬名	使用倍率・量(10a)	備考
2019年4月下旬	殺菌	デランフロアブル	1000倍 700L	2019年 4月20日 混用散布	デランフロアブル	1000倍	700L
5月中旬 混用予定	殺菌	ストロビードライフロアブル	2000倍		ハーベストオイル	150倍	
	殺虫	モスピラン水溶剤	3000倍 700L	5月13日 混用散布	ストロビードライフロアブル	2000倍	700L
6月中旬 混用予定	殺虫	アブロードエースフロアブル	1000倍		モスピランSL液剤	3000倍	
		展着剤	アビオンE	1000倍	6月13日 混用散布	アブロードエースフロアブル	1000倍
7月下旬 混用予定	殺菌	デランフロアブル	1000倍	デランフロアブル		1000倍	
		殺菌	ストロビードライフロアブル	2000倍	7月23日 混用散布	アビオンE	1000倍
8月上旬	殺虫	モスピラン水溶剤	3000倍 700L	モスピランSL液剤		3000倍	
	8月下旬	殺虫	サンマイト水和剤	3000倍 700L	9月6日	ストロビードライフロアブル	2000倍
殺虫		ダニエモンフロアブル	4000倍 700L	サンマイト水和剤		3000倍	
9月上旬	殺虫	アルバリン顆粒水溶剤	2000倍 500L		アルバリン顆粒水溶剤	2000倍	700L
		以後、計画無し			以後散布無し		

特別栽培農産物の根拠					
県慣行栽培化学肥料使用量 (窒素成分)	24 kg/10a	当作計画(化学肥料使用量)	0.3 kg/10a	当作肥料計画	9 割減
		当作実績(化学肥料使用量)	0 kg/10a	当作肥料実績	10 割減
県慣行栽培化学合成農薬使用回数 (成分回数)	22 回	当作計画(化学合成農薬使用回数)	11 回	当作農薬計画	5 割減
		当作実績(化学合成農薬使用回数)	10 回	当作農薬実績	5 割減

産地概要(気候・風土等)他、栽培上こだわっている点	作物の特徴・アピールポイント等
<p>当産地は、気候的に年間平均気温17～18度、平均降水量2000ミリを有し、海から一気に駆け上がる台地は水はけの良い特性があり、温暖な気候とあいまって柑橘栽培にとって最適な条件を有しています。また安心・安全にこだわり、使用資材に制限を設けた特別栽培に取り組んでいます。</p>	<p>今年は、例年より梅雨入りが2週間ほど遅れました。梅雨明けは7月下旬平年並みで、降水量が少なく玉肥大は遅れ気味でしたが、品質等の生育内容は順調でした。しかし8月下旬から9月上旬にかけて秋雨前線の停滞による降雨の影響で、酸切れは進み食べやすいのですが、糖度の上昇は鈍いようです。現在は天候も安定していますので、今後の食味向上を期待しているところです。</p>

令和1年度 栽培管理表

管理番号 1905

記入日

2019年9月21日

生産者	嶋村利昭	栽培責任者	みすみファーム	確認責任者	(株)幸里 生産管理部
住所	熊本県宇城市三角町	住所	熊本県宇城市三角町戸馳2242-1	住所	熊本県宇城市三角町戸馳2653-2
連絡先		連絡先	0964-53-1158/0964-53-1704	連絡先	0964-53-0606/0964-53-1704

作物名	みかん	圃場番号	津畦・古場	播種日	該当せず	栽培区分
品種名	極早生・早生			定植日	該当せず	特別栽培
栽培面積	29 a	圃場住所	宇城市三角町	収穫予定日	9月下旬	収穫予定数量
栽培方法	露地栽培			栽培期間	2018年11月上旬～今期作収穫終了日(1年間)	3000kg
種・苗の入手先	該当せず	前作作物名	みかん	出荷予定日	9月下旬	出荷予定数量
種子消毒有無	該当せず	前作終了日	2018年12月上旬	出荷期間	9月下旬～12月下旬	2500kg

施肥資材投入計画 (肥料・堆肥等)				施肥資材投入実績			
施用時期	投入資材名	使用量(10a)	備考(仕入先他)	施用月日	投入資材名	使用量(10a)	備考
2019年3月下旬	モグラ堆肥A	200kg	東海マルタ	2019年3月18日	モグラ堆肥A	200kg	極早生施肥
11月～12月	モグラ堆肥A	200kg	東海マルタ	4月18日	モグラ堆肥A	200kg	早生施肥
5月～9月	ジューシーカル	800倍/500L	JA宇城 液肥		以降、収穫終了後施肥予定		
	以後、施肥計画無し						

防除資材投入計画 (農薬等)				防除資材投入実績			
防除時期	目的	使用農薬名	使用倍率・量(10a)	防除実施日	使用農薬名	使用倍率・量(10a)	備考
2019年4月中旬	殺菌	デランフロアブル	1000倍 500L	2019年4月15日	デランフロアブル	1000倍 500L	
5月中旬 混用予定	殺虫	モスピラン水溶剤	2000倍	5月9日 混用散布	モスピラン水溶剤	2000倍	500L
	殺菌	フロンスサイド水和剤	1000倍 500L		フロンスサイド水和剤	1000倍 500L	
6月中旬 混用予定	殺菌	ストロビードライフロアブル	2000倍	6月1日 混用散布	ストロビードライフロアブル	2000倍	500L
	殺虫	アブロードフロアブル	1000倍 500L		アブロードフロアブル	1000倍 500L	
6月下旬	殺虫	ハーベストオイル	150倍 700L	6月21日	ハーベストオイル	150倍 700L	
7月中旬 混用予定	殺菌	ストロビードライフロアブル	2000倍	7月23日 混用散布	ストロビードライフロアブル	2000倍	500L
	殺虫	サンマイト水和剤	2000倍 500L		サンマイト水和剤	2000倍 500L	
8月上旬 混用予定	殺菌	ストロビードライフロアブル	2000倍	8月17日 混用散布	ストロビードライフロアブル	2000倍	早生のみ 散布
	殺虫	バロックフロアブル	2000倍 500L		バロックフロアブル	2000倍 500L	
		以後、計画無し			以後散布無し		

特別栽培農産物の根拠					
県慣行栽培化学肥料使用量 (窒素成分)	24 kg/10a	当作計画(化学肥料使用量)	0 kg/10a	当作肥料計画	10 削減
		当作実績(化学肥料使用量)	0 kg/10a	当作肥料実績	10 削減
県慣行栽培化学合成農薬使用回数 (成分回数)	22 回	当作計画(化学合成農薬使用回数)	9 回	当作農薬計画	5 削減
		当作実績(化学合成農薬使用回数)	9 回	当作農薬実績	5 削減

産地概要(気候・風土等)他、栽培上こだわっている点	作物の特徴・アピールポイント等
<p>当産地は、気候的に年間平均気温17～18度、平均降水量2000ミリを有し、海から一気に駆け上がる台地は水はけの良い特性があり、温暖な気候とあいまって柑橘栽培にとって最適な条件を有しています。また安心・安全にこだわり、使用資材に制限を設けた特別栽培に取り組んでいます。</p>	<p>今年は、例年より梅雨入りが2週間ほど遅れました。梅雨明けは7月下旬平年並みで、降水量が少なく玉肥大は遅れ気味でしたが、品質等の生育内容は順調でした。しかし8月下旬から9月上旬にかけて秋雨前線の停滞による降雨の影響で、酸切れは進み食べやすいのですが、糖度の上昇は鈍いようです。現在は天候も安定していますので、今後の食味向上を期待しているところです。</p>

令和1年度 栽培管理表

管理番号 1906

記入日

2019年10月8日

生産者	山口 洋子	栽培責任者	みすみファーム	確認責任者	榎幸里 生産管理部
住所	熊本県宇城市三角町	住所	熊本県宇城市三角町戸馳2242-1	住所	熊本県宇城市三角町戸馳2653-2
連絡先		連絡先	0964-53-1158/0964-53-1704	連絡先	0964-53-0606/0964-53-1704

作物名	みかん	圃場番号	家上・家下	播種日	該当せず	栽培区分
品種名	極早生・早生・青島			定植日	該当せず	特別栽培
栽培面積	33 a	圃場住所	宇城市三角町	収穫予定日	9月下旬	収穫予定数量
栽培方法	露地栽培			栽培期間	2018年10月中旬～今期作収穫終了日(1年間)	5700kg
種・苗の入手先	該当せず	前作作物名	みかん	出荷予定日	9月下旬	出荷予定数量
種子消毒有無	該当せず	前作終了日	2018年12月中旬	出荷期間	9月下旬～1月中旬	5500kg

施肥資材投入計画 (肥料・堆肥等)				施肥資材投入実績			
施用時期	投入資材名	使用量(10a)	備考(仕入先他)	施用月日	投入資材名	使用量(10a)	備考
2019年4月上旬 混合予定	味まる4号	80kg	三成肥料	2019年 4月6～8日 混合予定	味まる4号	108kg	
	モグラ堆肥A	50kg	東海マルタ		モグラ堆肥A	17kg	
	東栄魚ぼかし2号	50kg	岩崎肥料				
11月下旬 混合予定	味まる4号	100kg					
	モグラ堆肥A	50kg			以降、収穫終了後施肥予定		
	以後、計画無し						

防除資材投入計画 (農薬等)				防除資材投入実績			
防除時期	目的	使用農薬名	使用倍率・量(10a)	防除実施日	使用農薬名	使用倍率・量(10a)	備考
2019年4月上旬	殺菌	デランフロアブル	1000倍 500L	2019年 4月20日 混用散布	デランフロアブル	1000倍	
	殺菌	ストロビードライフロアブル	2500倍		アピオンE	1000倍	500L
6月上旬 混用予定	殺虫	アプロード水和剤	1000倍	6月10～11日 混用散布	ストロビードライフロアブル	2000倍	
	殺虫	モスピラン水溶剤	3000倍 500L		アプロード水和剤	1000倍	
6月中旬	殺虫	アプロードエースフロアブル	1000倍 500L		モスピラン水溶剤	2500倍	
6月中旬	殺虫	アルバリン顆粒水溶剤	2000倍 500L		アピオンE	1000倍	500L
8月上旬 混用予定	殺菌	ストロビードライフロアブル	3000倍		8月7～8日 混用散布	サンマイト水和剤	2500倍
	殺虫	サンマイト水和剤	3000倍 500L	ストロビードライフロアブル		2000倍	
9月上旬	殺虫	ロディー乳剤	2000倍 500L	10月7日	アピオンE	1000倍	500L
9月中旬	殺菌	イオウフロアブル	400倍 500L		アルバリン顆粒水溶剤	2000倍	300L
4月～9月	展着剤	アピオンE	1000倍 500L				
	以後、計画無し				以後散布無し		

特別栽培農産物の根拠					
県慣行栽培化学肥料使用量 (窒素成分)	24 kg/10a	当作計画(化学肥料使用量)	0 kg/10a	当作肥料計画	10 割減
県慣行栽培化学合成農薬使用回数 (成分回数)	22 回	当作計画(化学合成農薬使用回数)	10 回	当作農薬計画	5 割減
		当作実績(化学肥料使用量)	0 kg/10a	当作実績(化学合成農薬使用回数)	7 回
		当作肥料実績	10 割減	当作農薬実績	6 割減

産地概要(気候・風土等)他、栽培上こだわっている点	作物の特徴・アピールポイント等
当産地は、気候的に年間平均気温17～18度、平均降水量2000ミリを有し、海から一気に駆け上がる台地は水はけの良い特性があり、温暖な気候とあいまって柑橘栽培にとって最適な条件を有しています。また安心・安全にこだわり、使用資材に制限を設けた特別栽培に取り組んでいます。	今年は、例年より梅雨入りが2週間ほど遅れました。梅雨明けは7月下旬平年並みで、降水量が少なく玉肥大は遅れ気味でしたが、品質等の生育内容は順調でした。しかし8月下旬から9月上旬にかけ秋雨前線の停滞による降雨の影響で、酸切れは進み食べやすいのですが、糖度の上昇は鈍いようです。現在は天候も安定していますので、今後の食味向上を期待しているところです。

令和 1 年度 栽培管理表

管理番号 1907

記入日

2019年9月21日

生産者	吉田政美	栽培責任者	みすみファーム	確認責任者	(株)幸里 生産管理部
住所	熊本県宇城市三角町	住所	熊本県宇城市三角町戸馳2242-1	住所	熊本県宇城市三角町戸馳2653-2
連絡先		連絡先	0964-53-1158/0964-53-1704	連絡先	0964-53-0606/0964-53-1704

作物名	みかん	圃場番号	高野・新地	播種日	該当せず	栽培区分
品種名	極早生・早生・普通			定植日	該当せず	特別栽培
栽培面積	80 a	圃場住所	宇城市三角町	収穫予定日	9月下旬	収穫予定数量
栽培方法	露地栽培			栽培期間	2018年10月下旬～今期作収穫終了日(1年間)	8000kg
種・苗の入手先	該当せず	前作作物名	みかん	出荷予定日	9月下旬	出荷予定数量
種子消毒有無	該当せず	前作終了日	2018年12月下旬	出荷期間	9月下旬～1月中旬	7000kg

施肥資材投入計画 (肥料・堆肥等)				施肥資材投入実績			
施用時期	投入資材名	使用量(10a)	備考(仕入先他)	施用月日	投入資材名	使用量(10a)	備考
2019年3月上旬	自家製ボカシ	300kg		2019年3月10～15日	自家製ボカシ	300kg	
10月下旬	自家製ボカシ	100kg					
	自家製ボカシ内容 米ぬか 魚粕 モグラ堆肥A 糖蜜 乳酸菌 水				以降、収穫終了後施肥予定		
	以後、施肥計画無し						

防除資材投入計画 (農薬等)				防除資材投入実績			
防除時期	目的	使用農薬名	使用倍率・量(10a)	防除実施日	使用農薬名	使用倍率・量(10a)	備考
2019年4月中旬	殺菌	デランフロアブル	1000倍 300L	2019年4月15日	デランフロアブル	1000倍 300L	
5月中旬	殺虫	モスピラン水溶剤	3000倍 300L	5月10日	モスピラン水溶剤	3000倍 300L	
6月中旬	殺菌	ストロビードライフロアブル	2500倍 300L	6月3日	ストロビードライフロアブル	2500倍 300L	
7月中旬	殺虫	アブロードフロアブル	1000倍 300L	7月10日	アブロードフロアブル	1000倍 300L	
8月中旬	殺菌	ストロビードライフロアブル	2500倍 300L	8月5日	ストロビードライフロアブル	2500倍 300L	
9月中旬	殺虫	サンマイルト水和剤	3000倍 300L	9月14日	サンマイルト水和剤	3000倍 300L	
9月下旬	殺虫	ロディー乳剤	2000倍 300L				
					以後、農薬散布無し		
		以後、計画無し					

特別栽培農産物の根拠					
県慣行栽培化学肥料使用量 (窒素成分)	24 kg/10a	当作計画(化学肥料使用量)	0 kg/10a	当作肥料計画	10 割減
県慣行栽培化学合成農薬使用回数 (成分回数)	22 回	当作計画(化学合成農薬使用回数)	7 回	当作農薬計画	6 割減
当作実績(化学肥料使用量)		0 kg/10a		当作肥料実績	
				10 割減	
当作実績(化学合成農薬使用回数)		6 回		当作農薬実績	
				7 割減	

産地概要(気候・風土等)他、栽培上こだわっている点	作物の特徴・アピールポイント等
<p>当産地は、気候的に年間平均気温17～18度、平均降水量2000ミリを有し、海から一気に駆け上がる台地は水はけの良い特性があり、温暖な気候とあいまって柑橘栽培にとって最適な条件を有しています。また安心・安全にこだわり、使用資材に制限を設けた特別栽培に取り組んでいます。</p>	<p>今年は、例年より梅雨入りが2週間ほど遅れました。梅雨明けは7月下旬平年並みで、降水量が少なく玉肥大は遅れ気味でしたが、品質等の生育内容は順調でした。しかし8月下旬から9月上旬にかけて秋雨前線の停滞による降雨の影響で、酸切れは進み食べやすいのですが、糖度の上昇は鈍いようです。現在は天候も安定していますので、今後の食味向上を期待しているところです。</p>

令和 1 年度 栽培 管理 表

管理番号 1908

記入日

2019年9月21日

生産者	泉 カズ子	栽培責任者	みすみファーム	確認責任者	(株)幸里 生産管理部
住所	熊本県宇城市不知火町	住所	熊本県宇城市三角町戸馳2242-1	住所	熊本県宇城市三角町戸馳2653-2
連絡先		連絡先	0964-53-1158/0964-53-1704	連絡先	0964-53-0606/0964-53-1704

作物名	みかん	圃場番号	大桜	播種日	該当せず	栽培区分
品種名	早生			定植日	該当せず	特別栽培
栽培面積	30 a	圃場住所	宇城市三角町	収穫予定日	11月上旬	収穫予定数量
栽培方法	露地栽培			栽培期間	2018年12月下旬～今期作収穫終了日(1年間)	8000kg
種・苗の入手先	該当せず	前作作物名	みかん	出荷予定日	11月上旬	出荷予定数量
種子消毒有無	該当せず	前作終了日	2018年12月下旬	出荷期間	11月上旬～12月下旬	7500kg

施肥資材投入計画 (肥料・堆肥等)				施肥資材投入実績			
施用時期	投入資材名	使用量(10a)	備考(仕入先他)	施用月日	投入資材名	使用量(10a)	備考
2019年4月上旬	モグラ堆肥A	70kg	東海マルタ	2019年 3月9日 混合施肥	モグラ堆肥A	70kg	
4月上旬	味まる4号	120kg			味まる4号	130kg	
5月下旬	味まる4号	100kg			5月12日	味まる4号	100kg
11月下旬	味まる4号	100kg					
	以後、施肥計画無し						以降、収穫終了まで施肥無し

防除資材投入計画 (農薬等)				防除資材投入実績			
防除時期	目的	使用農薬名	使用倍率・量(10a)	防除実施日	使用農薬名	使用倍率・量(10a)	備考
2019年5月上旬	殺虫	オリオン水和剤40	1000倍 400L	2019年5月5日	オリオン水和剤40	1000倍 400L	
5月上旬 混用予定	殺虫	エクシレルSE	5000倍	5月11日 混用散布	モスピラン水溶剤	3000倍	
	殺菌	ストロビードライフフロアブル	2500倍 600L		ストロビードライフフロアブル	2500倍 500L	
6月中旬 混用予定	殺虫	アプロードエースフロアブル	1000倍	6月16日 混用散布	デランフロアブル	1000倍	
	殺菌	デランフロアブル	1000倍 600L		アプロードエースフロアブル	1000倍 600L	
7月上旬 混用予定	殺虫	モスピラン水溶剤	3000倍	7月7日 混用散布	エクシレルSE	5000倍	
	殺菌	ストロビードライフフロアブル	2500倍 700L		ストロビードライフフロアブル	2500倍 600L	
9月中旬 混用予定	殺虫	サンマイト水和剤	3000倍				
	殺菌	フロンサイド水和財	2000倍 600L				
		以後、計画なし					以後、農薬散布無し

特別栽培農産物の根拠					
県慣行栽培化学肥料使用量 (窒素成分)	24 kg/10a	当作計画(化学肥料使用量)	0 kg/10a	当作肥料計画	10 削減
		当作実績(化学肥料使用量)	0 kg/10a	当作肥料実績	10 削減
県慣行栽培化学合成農薬使用回数 (成分回数)	22 回	当作計画(化学合成農薬使用回数)	10 回	当作農薬計画	5 削減
		当作実績(化学合成農薬使用回数)	8 回	当作農薬実績	6 削減

産地概要(気候・風土等)他、栽培上こだわっている点	作物の特徴・アピールポイント等
<p>当産地は、気候的に年間平均気温17～18度、平均降水量2000ミリを有し、海から一気に駆け上がる台地は水はけの良い特性があり、温暖な気候とあいまって柑橘栽培にとって最適な条件を有しています。また安心・安全にこだわり、使用資材に制限を設けた特別栽培に取り組んでいます。</p>	<p>今年は、例年より梅雨入りが2週間ほど遅れました。梅雨明けは7月下旬平年並みで、降水量が少なく玉肥大は遅れ気味でしたが、品質等の生育内容は順調でした。しかし8月下旬から9月上旬にかけて秋雨前線の停滞による降雨の影響で、酸切れは進み食べやすいのですが、糖度の上昇は鈍いようです。現在は天候も安定していますので、今後の食味向上を期待しているところです。</p>